

前回議論のまとめ

第1班

見出し	どのような被害が起きるか	タイムラインをどのように活かすか
事前に見越した行動	家屋の浸水 床上・床下浸水 住宅地の流出 水害 まずは内水浸水 最悪の場合は外水被害 堤防の損壊 復旧まで多くの時間が必要 浸水害 土砂災害 がけ崩れ 最悪の場合は土石流 土砂災害×2	浸水被害を軽減できるよう周知を十分に行う 事前の避難誘導 通勤通学の見合わせ 早めの避難行動 二階への避難
危険回避行動	交通機関のマヒ 電車の不通 車両の渋滞 都市機能不全 流通の問題 長期に亘る物資不足 停電 テレビが見られない	人の動きのムダをはぶく 交通の見合わせ 外出をひかえる 車の使用をひかえる 人命を守るために行動する しばらく孤立しても大丈夫のように物資を用意
最悪の事態に備える行動	避難生活 集落の孤立 水が引かないので衛生面の問題 多くの住民の命が失われる	避難先食料の確保 早め早めの避難に役立ててもらおう 冷蔵庫の管理 事前予測に基づいて早めの重点的な報道

第2班

見出し	どのような被害が起きるか	タイムラインをどのように活かすか
人的被害を軽減でき	河川 寝屋川の破堤決壊 内水+外水〈人命被害〉 行方不明者が続発 逃げ遅れる住民が続発	逃げるタイミングの目安にする 避難情報を出して避難の呼びかけ 避難できる (避難所開設→運営 避難方法) 事前に連絡ができる
施設を守ることができる	建物 家屋の倒壊 家屋 床下・床上浸水 土砂くずれ 住宅街に浸水する 浸水 大量の土砂・流木〈土砂災害〉 下水道 マンホールから水があふれ道路冠水	(施設被害) 関係機関との情報共有→対策連携 被害を共有し相互間でできる範囲での協力しあえる 家屋工事例 1Fに重要なもの置かない 体制を整えられる
生活基盤の事前対策	内水浸水 家屋工場の1Fが水没 長時間の内水浸水〈水害〉 ライフラインの破壊 交通のマヒ 電車が止まる 停電 電車ストップ ライフラインが止まる 地下鉄等が水没 医療機関のマヒ	地下鉄の閉鎖 地下入口の閉鎖 寝屋川以上の地下鉄も 雨P(雨水ポンプ)を守る

第3班

見出し	どのような被害が起きるか	タイムラインをどのように活かすか
情報の提供	流域内に多くの住民→避難所不足 生活物資の不足	台風であれば高齢者などの早期避難 避難所不足→あらかじめ避難所指定 早期避難 電鉄マンも事例情報提供
生活	ゴミ流 トイレ使用に支障	
交通	多くの車→交通マヒ 洪水による浸水 交通マヒ 時に、外水域の浸水レベルの余裕がなくなり下水道調節池等あふれ交通に支障	交通マヒ→早期に車を通行止め 緊急交通路の確保
被害想定	内水氾濫 古川の決壊 門真市・守口市等 床下・床上浸水家屋多数 外水域内の下水があふれない水域に侵入 淀川チャンネルにより流域の北側のリスク大 排水ポンプ場の上流側 地形により局所的に低い場所 大規模な被害は、流域西側、中環付近 古い住宅地（宅盤が低い）	垂直避難 止水板設置、+排水ポンプ 治水施設情報の充実 下水管からの逆流防止 土嚢・バケツ 市民への情報発信
体制		役所の職員

第4班

見出し	どのような被害が起きるか	タイムラインをどのように活かすか
被害情報を的確に把握	土砂災害 地下街 浸水 道路 冠水による通行止め 広範囲にわたる床上浸水 内水浸水 外水浸水 広域での浸水（内水、外水） 下水があふれる 堤防が破れ川の水が市中にあふれる 道に水がたまり通行に支障がでる	逃げるためにいつから行動をおこすかに活かす 情報の共有化 必要な部署への河川情報の通知
	人命 財産家具等 雇用喪失 観光等衰退 浸水被害の発生後の移動が困難 逃げ遅れ 避難所不足 農業への打撃 ライフラインの喪失 人命の危機 避難所 教育委員会の参加	早めの避難 予めの広域避難計画トリガー 台風情報が出された時点で行動を起こす
	企業営業停止 サプライチェーン 搬送	早めの決断 企業BCP 取引先と情報共有 復旧見込みの提供 いろいろな事前の対策がOK 逃げる 命が一番 早期復旧・復興 財源的縮減 減災 目的別の決断
	市民の復興 市民被災 財産 生活基盤	市民被災（財産） 生活基盤 罹災証明

第5班

見出し	どのような被害が起きるか	タイムラインをどのように活かすか
土砂 土砂災害のタイムラインも必要	土砂災害 生駒山系での土砂災害 生駒山地で土砂災害が多発 土砂災害	弱者に対する住民参加型の取り決め
外水 水位情報等適切な情報の発信	(次に) 堤防の越水による外水氾濫 河川堤防 (特に土堤区間) で被堤破堤 (堤防破壊) 家屋の流出 流域開発が多く浸透しにくい流域であり 大規模な浸水被害が発生 ゼロメートル地帯における浸水 (排水悪い)	
内水 内水における迅速な情報発信の	床下浸水 床上浸水 役所内調整 広範囲の浸水流域全域に渡る ゆっくり長い浸水時間 内水浸水により流域全体が水没 (まず) 内水氾濫 低地への冠水 水害 家屋 建物の水没 民家への被害 停電 家に残した家族 (犬) が心配 避難	避難計画策定 人命を守るための行動周知 職員の適切な行動 早期避難 (人命優先) 住民への避難 あらかじめ住民がどこに逃げればよいか 定めておく
物資 避難後の行動計画の作成	物資が途絶える? 必需品	避難後の物資の情報発信も
交通	鉄道への浸水 (交通支障) 道路への冠水 (交通支障) 道路冠水 (内水氾濫) 市民からの問い合わせ 道路の冠水 道路の冠水 地下鉄浸水 中央線 今里筋線 交通機関がストップ 帰宅難民 渋滞 信号も止まる 経済活動の低下 (復旧困難)	情報の提供 適切な避難指示 住民に対する最新の情報提供 経済活動を早期に復旧できるための措置 重要施設設備の耐水化

第6班

見出し	どのような被害が起きるか	タイムラインをどのように活かすか
交通網の被害	交通マヒ 道路冠水の発生（特にアンダーパス部） →緊急避難対応 道路の使用不可 道路冠水 通行障害 地下鉄ストップ	通行規制（道路、鉄道）車両流入規制
停電	変電所の水没 電線切断 停電 停電	危険個所の事前点検 浸水シミュレーションを策定しておく 予測できる情報は発信する 復旧ツールの確保
人的（家屋）・資産被害	人的被害 広域避難の対応（自治体間の連携）が必要 個人資産の崩壊（家財等） 避難中の人的被災 低地のみ流域で避難場所が安全でなくなる 避難困窮者救出機能の不足 中小企業、町工場の操業ストップ 床上浸水の多数発生 床上・床下浸水被害 何万軒もの床上・床下浸水 長期間浸水 地下街（室）の水没 床下床上浸水 家屋の浸水	土嚢の準備 要配慮者の早期の避難・移動 水没資産の最小化 住民の事前避難 早期・的確な危険度の周知 広報→警告 安全ボケ 情報による早めの避難 各戸における貴重品の上階への移動
外水氾濫	護岸からの大規模漏水→破堤 危機感の増大 河川氾濫 河川の氾濫 大河川の氾濫	
土砂崩壊	急傾斜地での土砂崩壊 山地での規模の大小を問わず多発土砂崩れ 土砂災害 河道閉塞	
内水浸水	下水道未処理水が街中にあふれる 下水道排水能力の喪失 増補管＝地下河川調節池の満水	

第7班

見出し	どのような被害が起きるか	タイムラインをどのように活かすか
	停電 停電 送電所浸水etc 断水 通信障害	末端までの共有 定期的な訓練
	生駒山系で土砂災害がおこる 内水浸水 内水氾濫 内水浸水 下水管があふれて内水浸水がおこる 下水氾濫 河川堤防が破堤し大きな浸水がおこる 外水被害 堤防越水 堤防決壊 破堤 河川水溢水	
	地下鉄の駅に雨水が侵入し、機能マヒがおこる 地下鉄浸水 地下鉄駅舎への水の流入 交通機能障害 道路寸断	関係先との連絡
	孤立地域発生 床上・床下浸水 役所の水没	気象情報による事前水防活動 準備情報の発信 情報をいち早く市民に流し避難させる 役割に従った行動 スマホアプリの開発 住民の避難行動 避難勧告

第8班

見出し	どのような被害が起きるか	タイムラインをどのように活かすか
被害情報の把握	場所によっては2Fまで達する浸水が発生 大規模浸水 家屋浸水 浸水被害 浸水害 内水 洪水 家屋の浸水 内水浸水による下水蓋飛び まず大規模な内水浸水の発生	自衛隊との連携
情報共有をはかる		早期避難 関係機関の連携ができる 各情報の意味を事前に認識できる 情報共有 近隣市町村との情報共有 情報の共有
土砂災害の発生の把握	山間部で土砂災害 土砂災害	
人的物的被害の把握	人的被害 安否不明等要救助事案 地下への浸水により人的被害発生 孤立住民 高齢者への生活の影響 物的被害 堤防の破堤 寝屋川の破堤により川の近くの家が流される	
事前準備ができる		住民の意識が変わる 前もって準備ができる 職員の意識変革 庁内体制の構築 地域での助け合い計画 事前の準備 対応策の検討 情報を早く出す 避難活動を早く行う 住民の連携をとる
住民の避難状況の把握	次に内水浸水により移動がむずかしくなる 帰宅困難者の増大	市民企業への周知 避難情報の発信 移動可能なうちに避難
ライフラインの被害状況の把握	アンダーパスの浸水 信号滅灯 停電 道路冠水 交通マヒ 交通障害 交通の遮断 道路冠水	他機関との調整（連携） 設備巡視
経済被害の把握	経済的な損失	企業との連携

第9班

見出し	どのような被害が起きるか	タイムラインをどのように活かすか
生命の確保	人が流される とりあえずパニックになり何をしても良いかわからない	家族に連絡を取り合い、対応を相談する 大切なものを2Fに上げて避難させる 避難広報 とりあえず逃げる 避難 早めの避難 助け合う！ 住民への情報伝達 避難 避難所の開設
家屋被害	地域によっては床下浸水や床上浸水が発生する 家等倒壊 流域河川・水路越流 床上・床下浸水 大浸水！！ 河川の氾濫 山間部での土砂災害 低地での浸水被害の発生 床下浸水であってもクーラーの室外機が水没して故障する 冠水した道路に車両が通行することにより沿道の被害が大きくなる 床上・床下浸水 河川の氾濫	立入禁止区域設定 住民ひとりひとりまで浸透するわかりやすく簡単なルール作り、承知 土嚢積み作成 災害を最小化するための市の体制配置 体制構築
インフラ被害	交通機関が不能となる 交通マヒ 鉄道橋の傾斜、倒壊（流失） 浸水による鉄道機器故障 鉄道橋前後盛土斜面崩壊 道路冠水 交通機関のマヒ！ 鉄道等不通による帰宅困難	河川水位情報による鉄道運行抑止 早期退社 一時避難場所確保 情報発信 住民（関係機関）
ライフラインの停止	水・電気等の停止 トイレが使えなくなる 下水機能停止 ライフラインのストップ	水・ライト等の準備

第10班

見出し	どのような被害が起きるか	タイムラインをどのように活かすか
下水があふれる	ポンプ調整運転による内水氾濫 下水管の排水の雨量区を超えて、流水する	
不衛生 消毒可？	不衛生な水の長期間の滞留	
河川があふれる 広範囲	河川が増水し、堤防が決壊する 平野川あふれる 楠根川あふれる 恩智川あふれる	
交通マヒ 京橋まで行けない	道路冠水 鉄道の運行停止 アンダーパスの浸水 物流の停滞 放置自動車による交通マヒ	
土砂崩れ 命	斜面が崩壊し、土砂災害が発生する 土砂災害発生可能性	
避難先の確保が困難	避難所も水害 帰宅困難で駅が混乱する 人口密集地	
事前の備えの充実		事前の通行規制 事前準備をしっかりとる ボート、カヌーが必要 垂直の避難（2Fで寝る）
意識改革		市民への周知 市民への周知 市民にわかりやすいタイムラインの作成 早めの情報の公開
行政の対応の適切化		避難所への職員配置 適切・早めに 職員への参集・情報伝達に生かす

第11班

見出し	どのような被害が起きるか	タイムラインをどのように活かすか
浸水被害	道路冠水（アンダーパス） アンダーパスの冠水 水路と道路の境がわからなくなる 避難所の浸水 広い地域での浸水被害（床上・床下） 河川氾濫 家屋の浸水 家屋倒壊 家屋床上・床下浸水 床下 床上 地下・住宅 浸水 地下駅浸水 施設内避難（垂直）した方の孤立化	どんな経路で逃げるができるかに活かす 浸水前の避難 人的被害の最小化（避難の迅速化） 避難行動早期の実施 早期の通行止め 区域外へ避難 水位を見て避難行動 外出禁止 不要な外出の禁止 食糧の確保 避難所の開設 避難所開設 鉄道のストップ
交通機関への影響	交通機関への影響 集中豪雨による運転規制（列車） 浸水による運行停止 長時間の運行停止による帰宅困難者 運行停止による駅滞留者の増加	被害の最小化（交通機関） 報道による来駅者の減少
土砂災害	土砂災害 土砂崩壊 土砂流入による通行停止 大規模な土砂災害 土砂災害 土砂災害の発生	
	台風シーズン等に関係なく被害 夜中、早朝なので対応が遅れる	事前から日頃の情報提供者
		経済活動の早期の回復
その他	要介護者の逃げ遅れ 断水などライフライン 復旧に何日も要す	要配慮者の避難行動 電力会社、行政の対応

第12班

見出し	どのような被害が起きるか	タイムラインをどのように活かすか
産業 対企業	産業終結 サプライチェーンの被害による生産性の低下 企業の操業停止により経済的な損失 停電	操業中止などの判断を行う
浸水 対住民	田畑への浸水被害→農作物への影響 農地がつかる 河川氾濫 土石流 土砂災害 土砂災害 山の崩落など 内水氾濫 道路のり面崩壊、冠水 内水浸水 低地での床上浸水 水路が雨水であふれる 住宅への浸水被害 アンダーパス冠水	事前避難の徹底 各自治体からの情報収集 入手した情報の整理 垂直避難指示 緊急放送 早めの避難 避難指示のタイミングの判断
		被害軽減に向けて危険個所の事前点検 事前の通行止め 交通規制